



ソフトバンクグループ株式会社

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

質疑応答

2021年度 11月8日

質疑応答

質問者 1：先日、国内製薬ベンチャーのアクリスファーマへの投資が明らかになりました。かねて、孫社長としては日本にユニコーン企業が少ないことを嘆いていたと思います。ユニコーン軍団を育てる方法を考えているとも言っていました。今回の投資は、日本でユニコーン軍団を育てる第一歩ということになるのでしょうか。今後の日本企業への投資方針についてお聞かせください。

孫：はい。ぜひ日本の会社にも投資を増やしていきたい、こういうつもりでいます。先ほど言いましたように3,000社ぐらいの会社をパイプラインとして、常にディールフローを見ていますが、あまりにも日本の企業が少ないということで、かねてより私も、大変残念だと思っていた状況ですが、ソフトバンク・ビジョン・ファンド（以下「SVF」）としての投資第1号が生まれたので、ぜひこれからこのAIのユニコーン軍団に入る日本の企業を続々と増やしていけることを心から願っています。

質問者 2：SVF2の出資コミットメント総額が420億ドルぐらいだったと思うのですが、かなりのペースで投資が増えていると思います。今後のLTVとのバランスなど含めて、どれぐらい増やすつもりか、方針をお聞かせください。

孫：はい。これは先ほど言いましたLTVなどを勘案しながらやっていきますが、どちらにしろ上場株式がだいぶ増えてきましたので、そういうものの一部売却だとか、資金化を含めて何兆円かの単位で、毎年コンスタントに投資できるようにしていきたいと考えています。年間数兆円単位の投資を、できれば続けていきたい。もちろん、これはLTVを勘案しながらという形になります。

質問者 2：それは今後、数兆円単位でSVF2への出資コミットメント総額を増やすということですか。

孫：細やかに増やしていきます。

質問者 3：SVF2についてお伺いします。相当、アーリーな投資が増えているというご説明でした。以前より大化けする企業の割合は少なくなっている反面、リスクはヘッジされているという見方ができると思うのですが、ポートフォリオ構築の方針について現状の中国の外部環境などもありますが、孫社長のお考えをお聞かせください。また、それに合わせた資本政策なども今までと変わってくるのではないかと思うのですが、お考えをお聞かせください。

孫：先ほどもプレゼンで言いましたが、1件当たりの投資金額は数百億円、大振りはしない。それでも1件当たり200億円の投資というのは、世界の今までのベンチャーキャピタルの常識からす

れば、10倍とか20倍とか遥かに大きな金額だと思います。それでもわれわれはSVF1のときのいろいろな反省をしながら、学習しながら、このぐらいの規模でやるのが一番いいのではないかと。

分野的には、フィンテックだとか、メディカルだとかそういうものを含めて、広く分散しているというのも先ほど説明した通りです。こういう形で地域的にも、テーマ的にもバランスよく、細切れにどんどん連打していく形で、そんなに大振りせずに、そんなに大きなリスクを払わない形で着実に増やしていきたい。またそれができる組織になってきたと思っています。

件数は大幅に増えています。件数が大幅に増えることによって、1件当たりの投資金額が小さくなくても十分に回していける手応えがあるということです。

資本政策については先ほど言いました。われわれが外部から、投資のための投資家を募るという状況は、今はあまり必要ではないかなと。もう手持ちの資金、資産を回していくことによって、十分回る。むしろ、自己株を取得しながらでも回っていける。こういう手応えを感じられるようになったということだにご理解いただきたいと思います。

質問者 4：プレゼンの中でもありましたアームのエヌビディアへの売却について伺います。一部ではイギリスやヨーロッパの規制当局が懸念を示しているというようなことも伝えられています。現段階での認可の見通しについて、認識をお聞かせください。その際、昨今の経済安全保障の議論がアセットの保有方針にどのような影響を与えるのかについてもコメントいただけますと幸いです。

孫：はい。いろいろな国の当局の方々が、より詳しく審査をしたいということで、審査が第2ステージに入っている状況ですが、私自身は、最終的には審査は無事に通るのではないかと今でも思っています。これは相手があることなので、われわれが確約するわけにはいきませんが、私はそう信じているということです。

質問者 4：経済安全保障についてはいかがでしょうか。

孫：われわれ、日本のソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）がアームを持っていようが、米国のエヌビディアの傘下に入ろうが、経済安全保障という意味ではそんなに変わらないのではないかと。少なくともアームについてはですね。

質問者 5：SVF2の運営について、経営陣のコミットメントを高めるということで、共同出資プログラムを発表したと思いますが、その後、ほかの経営幹部の方とかを含めて、どなたに配分されるのか、また進捗はいかがでしょうか。

孫：はい。私自身がしっかりとそこにコミットしているわけですが、それ以外の経営陣のところについては、現在、調整中です。

実際に、今日のプレゼンにはありませんでしたが、ノーススターによる上場株への投資をやっていきます。こちらには私自身が個人で3割ぐらいリスクを取って、共同出資したわけです。

これはほぼ手仕舞いに近い状態で、アマゾン、グーグル、フェイスブックなど上場株を中心に投資したわけですが、SBGとしては累積でプラマイちょうどゼロぐらいの感じの成績になっています。一時大赤字でしたが、今日現在はプラマイゼロぐらいになっています。

最初に上場株への投資を開始した段階、アマゾンとかに投資を始めた段階では、このノーススターという組織の体制がまだ出来ていなかったなので、私の共同出資は若干遅れたのです。最初はほんと利益を出していたのですが、私がノーススターの3分の1を共同出資して、参加して以降、赤字になっており、私個人としてはリスクを負担して確か個人では1,500億ぐらいの赤字になっています。

経営陣がリスクを取って参加するというのは、うまくいったときはどんとうまくいくのですが、うまくいかないときはもう真っ赤になりますから、僕はそれでも良しとして、今回のSVF2においても、もう1回リスクを取ってやるのだと。いけるのだという自信いっぱいです。

だけど、ほかの経営陣がリスクを取って参加するというのは、やはりなかなか大変ですよ。皆さんも自分個人のリスクをどーんと何百億単位で背負うというのは、非常にリスクイキですから。この調整はいろいろしなきゃいけないし、僕らも慎重に話し合いながらやらなきゃいけない。

ただ、僕自身はまず真っ先にキャプテンとして、自ら、今回3割ではないのですが、十数パーセントは共同出資として、リスクをしっかりと取ってやっていこうと。株主の皆さんにご迷惑かけないようにやっていこうと、そういうプログラムです。

ですから、ちょっとリスクもあるので、調整に時間がかかっています。

質問者6：日本のスタートアップへの出資について、1号の発表があって、増やしていきたいということでしたが、2号、3号と実際、続いていくような可能性があるのか教えてください。また、その数を増やしていくために、日本の環境でこういったものを整えていく必要があるとお考えかも教えてください。

孫：はい。もうすでに2号の会社とは、今、具体的な投資の条件手続きを進めている最中です。ですから、2号は必ず、もう近いうちに出てきます。ほかにもいくつか、今まさに検討中のところがありますので、これから日本の銘柄も徐々に増えていくと信じています。ぜひ、われわれも応援していきたいと心から願っています。

質問者 7：ペイペイは、アームに並んで大きな芽になりそうとおっしゃいました。ペイペイについてはスーパーアプリ化でいろいろ進めていきそうということで、期待して見ているのですが、ラインも傘下にあって、スーパーアプリという意味では食い合うのかなとかいう懸念もあります。そういったスーパーアプリの方向性とか、ペイペイの上場時期、株式価値について、教えてください。

孫：はい。ペイペイは必ず大きく伸びると私は信じています。ペイペイはSBGと、ソフトバンク株式会社（以下「SBKK」）とZホールディングス株式会社の3社の共同プログラムで始まっていますが、アプリケーションのダウンロード数で、いろいろなカテゴリーがある中で、最近なんとペイペイが1位なのです。

ペイメントのアプリが、全てのカテゴリーの中で1位のダウンロード数を誇るというのは、ほかの国でほとんどないぐらいものすごい数がダウンロードされて、しかも伸び続けているということです。取扱金額も倍々で伸びている状況ですから、これは間違いなく伸びると。ただ、今現在は赤字ですから、この赤字のものが1日も早く黒字になっていくようにと。ちなみに赤字とは言いましたが、粗利の部分も去年までは真っ赤だったのですが、最近、粗利ではついに黒字化したと報告を受けています。

ですから、まだ経費はかかっていますので、最終利益ではありませんが、ペイペイは確実に伸びると。ラインだとかもスーパーアプリ化していきませんが、同じグループですから、それぞれがどんどんスーパーアプリ化しながら、連携も深めていく形で伸ばしていくのではないかと私は信じています。

質問者 7：株式価値についてはいかがでしょうか。

孫：株式価値とか上場については、いずれかの段階で、上場は必ずしたいと思っていますが、時期だとか、価値についてはまだ語るのは少し時期早尚かなと思います。

質問者 8：上場準備中の会社が13社あるということで、その1社、インドのペイティーエムが今まさに上場に向けて募集をしていると理解しています。バリュエーションが200億弱ということで、従来の目標よりも少し低いという報道もありますが、こうした市場からの評価についてどうお考えか。ペイティーエムの将来性についてもコメントをお願いします。

孫：はい。ペイティーエム、非常に伸びると私は信じています。どのような最終バリュエーションで上場するかというのは、そのときの市場の状況だとか、投資家の皆さんからの人気の度合いだとかによって最終的な価格は決まるとは思いますが、どちらにしろ、われわれが投資したときのコストよりは大幅アップな形での上場が見込まれていますので、われわれにとってはどっちにしろ非常に

めでたい上場になるのではないかと考えています。これからも着実に、その価値を伸ばしていくことができると思っています。

そのほかにも、いくつか上場を楽しみにしている会社がありますので、指折りこれから、年末年始に向けて楽しみに数えていきたいと思っています。少なくとも倍々でこの数年間、われわれの生み出す上場の数が増えていますので、ときどきその中に大玉に育つものがあるというふうに願っています。

質問者 9：一部の報道では SVF の幹部人材の流出が相次いでいると指摘されていますが、こちらは事実なのかと、人材のつなぎ留め、さらに新規採用で今後、どのような方針を考えているか教えてください。

孫：はい。シリコンバレーというのは、どの有力企業もだいたい幹部の入れ替わりが常にあるということです。アップルにしる、グーグルにしる、フェイスブックにしる、いろいろな会社で常に幹部の入れ替わりがある。日本的カルチャーからすると、ときどき悲しいとか、いろいろあるのですが、それがシリコンバレー風と言いますか、人材の入れ替わりは常にあるということを前提にわれわれも経営をしていかなければいけない。

ですから、一人一人の属人的な部分に頼るのではなくて、先ほどから申しているような組織としての仕組みだとか、組織としての強み、こういうものをしっかりと育てていきたいと思っています。

われわれから抜けていく人材もいるのですが、逆に採ってきて、増えて、新たに加わる人材も常にいる。また他の投資ファンドで大変な実績を上げている有力なメンバーとか、以前よりはだいぶレベルの高い新規のマネージャーが、続々とわれわれに応募してきている。われわれの実績だとか、勢いを目掛けて、新たな採用候補も続々とドアを叩いてきていますので、そういう中でとにかく頑張っていきたいと思っています。

質問者 10：中国でのテクノロジー企業に対する締め付けに関連して、今後、SVF の投資行動にどのような影響があるのでしょうか。また、今後のスタートアップの誕生に対して、どのような影響があるとお考えでしょうか。

孫：中国の状況は私も非常に心配をしながら、でも、一方で、新たな AI 関連の企業は続々と中国で生まれ続けているということで、われわれも投資をこれからも続けてやっていきます。今現在も続けて、投資を毎日のように行っています。

今朝もズームで、目覚ましく急成長している中国の会社との投資交渉をやっていた最中ですが、新たな AI 関連の企業、テクノロジーは中国で続々と生まれ続けているということで、そういう会社

がこれから大きく育つことを願っていますし、信じています。われわれは投資を継続していくということで、ぜひ、中国でもどンドンと、そういう AI 関連の企業が大きく育っていくことを心から願っています。

質問者 11：自己株式取得の件で教えていただきたいのですが、孫社長はこれまで可能性については言及されていたものの、基本的にはやはり SVF の投資を通して価値を上げていくことに集中をされていたと思います。今回もちろん NAV が下がったということが大きな理由ではあるとは思いますが、このタイミングで自社株買いを発表された理由についてももう少し教えてください。

孫：はい。NAV のディスカウントが大きくなった。つまり、今の株価は株主にとって買いのチャンスだと私自身、非常に強く信じているということで、決断をしたということです。

もちろん、新たな投資機会を逃がさないように、投資のための資金、それも十分温存しながら、LTV25%未満という規律を守りながら、社債の償還資金 2 年分、常に手持ちの現金で温存すると、こういう財務規律とのバランスを保ちながら、1 兆円の自己株取を十分やれる余力ができた。こういうふうに判断したので、決断をしたということです。

質問者 12：先ほど、孫社長が株価のディスカウントを逆手に取って、嬉しいニュースに変えるというふうに自己株式取得を表現されたのですが、実際に SBG 株を持っている機関投資家に取材をすると、昨今の株価の低調というのが、自己株式取得のアナウンスがなかったからではなく、中国リスクを懸念してのことだと言う方が多いです。

先ほどお示しいただいたように、時価総額では約 2 割を中国株が占めていて、今のご発言を考えると、今後もさらに拡大していくという印象を受けたのですが、それがリスクとなって投資家に伝わってしまうという懸念はないのでしょうか。

前回の 2.5 兆円の自社株買いのときのように、いったんは上がるのですが、またそれが悪いほうに下がってしまうという繰り返しになるのではないかという懸念を持っています。このあたり、どのように考えていますか。

孫：はい。先ほどプレゼンでお話しした通り、ほんの 1 年前はわれわれの NAV に占める中国比率、とりわけアリババが、6 割あったのです。6 割だったものが、現在 2 割ぐらいになったということですから、われわれの NAV に占める中国関連の比率はもう十分下がったということです。

今なお 6 割だったら、チャイナリスクというのが暗雲ずっと立ち込めたような状況かもしれませんが、もうすでに 2 割ぐらいに下がり、また、SVF で中国関連の会社にも投資は継続すると申しま

したが、SVF 中の構成比率でも、中国関連は 2 割前後ですから、そういう意味ではチャイナリスク、これがものすごく大きい状況では全然ないのではないかなと。

十分マネージできる範囲だと思っています。もちろん健全な範囲の会社に小さく入れていく。こういうことですから、ほとんど心配をしていないという状況です。

質問者 13：日本の AI ベンチャーへの投資について質問です。半年前の決算発表のときに、孫さんが、AI ユニコーンが日本でも育つように、新しいアイデアもあるが、詳細を語るのは時期尚早というふうに話していたと思います。6 カ月たったので、その新しいアイデアについて、具体的に少しお話し、ご説明をいただけないでしょうか。

孫：まだいろいろ検討中。まず、少なくとも SVF 経由で、1 号目の投資先が見つかった。2 号目も今、パイプラインで具体的に条件詰めをしている最中ですから、着実にこれから少しずつ増やしていきたいと。ウルトラ C はあまりないのが今の日本のユニコーンに対する投資の部分で、とにかく一步一步進めていきたいと思っています。

質問者 14：日本のスタートアップを取り巻く投資環境について、これまで孫さんが投資をしたくなるような企業がありませんでした原因や背景というのをどのように分析していますか。また、ベンチャーキャピタルもあまり日本では出ていないというのが現状だと思うのですが、そうした現状について、どう分析をされて、どういう意見をお持ちでしょうか。

孫：アメリカはシリコンバレーを中心に、先ほど言いましたように、良い、悪いは別として、大変成功している GAF A のような大きな企業から、続々とスピナウトして自分で独立して会社を始めるとか、スタートアップの会社に参加するという、人材のローテーションと言いますか、スピナウトが、爆発的にどんどん動いていると。

ですから、新しいテクノロジーの芽が生まれたときに、それを動かすことのできる人材も同時にどんどん動いていくので、スタートアップの会社にも大変能力のある、中間レベルの若いマネジメントが続々と入っているので、やはり強者になりやすいですね。日本の場合は大企業に 1 回入って、もうじとっと 40 年ぐらい同じことを繰り返すというような文化があるので、なかなかスタートアップが育ちにくいというのが一つあると思います。

ベンチャーキャピタルを日本では、第 3 セクターみたいなところで、間接的に日本のためになればいいとか、地域のためになればいいとかいうことで、投資に対するリターンに対して貪欲でないベンチャーキャピタルがまだまだたくさんあります。やはり生き馬の目を抜くような、戦いというような感じの投資家、あるいは起業家というのが少ない。

もう一つは、AI に対する技術ですね。これがあまりにもまだ普及してないということで、技術も挑戦する人がやはり少ない、いろいろな問題がありますね。挙げれば切りがないと思いますが、そうは言ってもいくつか出始めたので、背中を示す成功事例、ローカルヒーローが生まれてくれば、それに続きたいという若者も、これから必ず出てくると信じていますので、そういうところを応援したいと思っています。

IMPORTANT INFORMATION

Disclaimers

This presentation provides relevant information about SoftBank Group Corp. (“SBG”) and its subsidiaries (together with SBG, the “Company”) and its affiliates (together with the Company, the “Group”) and does not constitute or form any solicitation of investment including any offer to buy or subscribe for any securities in any jurisdiction.

This presentation contains forward-looking statements, beliefs or opinions regarding the Group, such as statements about the Group’s future business, future position and results of operations, including estimates, forecasts, targets and plans for the Group. Without limitation, forward-looking statements often include the words such as “targets”, “plans”, “believes”, “hopes”, “continues”, “expects”, “aims”, “intends”, “will”, “may”, “should”, “would”, “could”, “anticipates”, “estimates”, “projects” or words or terms of similar substance or the negative thereof. Any forward-looking statements in this presentation are based on the current assumptions and beliefs of the Group in light of the information currently available to it as of the date hereof. Such forward-looking statements do not represent any guarantee by any member of the Group or its management of future performance and involve known and unknown risks, uncertainties and other factors, including but not limited to: the success of the Group’s business model; the Group’s ability to procure funding and the effect of its funding arrangements; key person risks relating to the management team of SBG; risks relating to and affecting the Group’s investment activities; risks relating to SB Fund (defined as below), its investments, investors and investees; risks relating to SoftBank Corp. and the success of its business; risks relating to law, regulation and regulatory regimes; risks relating to intellectual property; litigation; and other factors, any of which may cause the Group’s actual results, performance, achievements or financial position to be materially different from any future results, performance, achievements or financial position expressed or implied by such forward-looking statements. For more information on these and other factors which may affect the Group’s results, performance, achievements, or financial position, see “Risk Factors” on SBG’s website at https://group.softbank/en/ir/investors/management_policy/risk_factor. None of the Group nor its management gives any assurances that the expectations expressed in these forward-looking statements will turn out to be correct, and actual results, performance, achievements or financial position could materially differ from expectations. Persons viewing this presentation should not place undue reliance on forward looking statements. The Company undertakes no obligation to update any of the forward-looking statements contained in this presentation or any other forward-looking statements the Company may make. Past performance is not an indicator of future results and the results of the Group in this

presentation may not be indicative of, and are not an estimate, forecast or projection of the Group's future results.

The Company does not guarantee the accuracy or completeness of information in this presentation regarding companies (including, but not limited to, those in which SB Funds have invested) other than the Group which has been quoted from public and other sources.

Regarding Trademarks

Names of companies, products and services that appear in this presentation are trademarks or registered trademarks of their respective companies.

Important Notice – Trading of SBG Common Stock, Disclaimer Regarding Unsponsored American Depository Receipts.

SBG encourages anyone interested in buying or selling its common stock to do so on the Tokyo Stock Exchange, which is where its common stock is listed and primarily trades. SBG's disclosures are not intended to facilitate trades in, and should not be relied on for decisions to trade, unsponsored American Depository Receipts ("ADRs").

SBG has not and does not participate in, support, encourage, or otherwise consent to the creation of any unsponsored ADR programs or the issuance or trading of any ADRs issued thereunder in respect of its common stock. SBG does not represent to any ADR holder, bank or depository institution, nor should any such person or entity form the belief, that (i) SBG has any reporting obligations within the meaning of the U.S. Securities Exchange Act of 1934 ("Exchange Act") or (ii) SBG's website will contain on an ongoing basis all information necessary for SBG to maintain an exemption from registering its common stock under the Exchange Act pursuant to Rule 12g3-2(b) thereunder.

To the maximum extent permitted by applicable law, SBG and the Group disclaim any responsibility or liability to ADR holders, banks, depository institutions, or any other entities or individuals in connection with any unsponsored ADRs representing its common stock.

The above disclaimers apply with equal force to the securities of any of the Group which are or may in the future be the subject of unsponsored ADR programs, such as SoftBank Corp. or Z Holdings Corporation.

Notice regarding Fund Information contained in this Presentation

This presentation is furnished to you for informational purposes and is not, and may not be relied on in any manner as, legal, tax, investment, accounting or other advice or as an offer to sell or a solicitation of an offer to buy limited partnership or comparable limited liability equity interests in any fund managed by a subsidiary of SBG, including SB Global Advisers Limited (“SBGA”), SB Investment Advisers (UK) Limited (“SBIA”), SBLA Advisers Corp. (“SBLA”) and any of their respective affiliates (collectively, the “SB Fund Managers” and each an “SB Fund Manager”) (such funds together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle collectively, the “SB Funds” and each an “SB Fund”). For the avoidance of doubt, the SB Funds include, among other funds, SoftBank Vision Fund L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, the “Vision Fund I” or “SVF1”), which are managed by SBIA and its affiliates, SoftBank Vision Fund II-2 L.P. (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, the “Vision Fund II” or “SVF2”), which are managed by SBGA and its affiliates, SBLA Latin America Fund LLC (together with, as the context may require, any parallel fund, feeder fund, co-investment vehicle or alternative investment vehicle, the “SoftBank Latin America Fund” or “LatAm Fund”), which is managed by SBLA and its affiliates.

None of the SB Funds (including the Vision Fund I, Vision Fund II and SoftBank Latin America Fund), the SB Fund Managers any successor or future fund managed by a SB Fund Manager, SBG or their respective affiliates makes any representation or warranty, express or implied, as to the accuracy or completeness of the information contained herein and nothing contained herein should be relied upon as a promise or representation as to past or future performance of the SB Funds or any other entity referenced in this presentation, or future performance of any successor or the future fund managed by a SB Fund Manager.

Information relating to the performance of the SB Funds or any other entity referenced in this presentation has been included for background purposes only and should not be considered an indication of the future performance of the relevant SB Fund, any other entity referenced in this presentation or any future fund managed by an SB Fund Manager. References to any specific investments of an SB Fund, to the extent included therein, are presented to illustrate the relevant SB Fund Manager’s investment process and operating philosophy only and should not be construed as a recommendation of any particular investment or security. The investment performance of individual investments of an SB Fund may vary and the performance of the selected transactions is not necessarily indicative of the performance of all of the applicable prior investments. The specific investments identified and described in this presentation do not

represent all of the investments made by the relevant SB Fund Manager, and no assumption should be made that investments identified and discussed therein were or will be profitable.

The performance of an SB Fund in this presentation is based on unrealized valuations of portfolio investments. Valuations of unrealized investments are based on assumptions and factors (including, for example, as of the date of the valuation, average multiples of comparable companies, and other considerations) that the relevant SB Fund Manager believes are reasonable under the circumstances relating to each particular investment. However, there can be no assurance that unrealized investments will be realized at the valuations indicated in this presentation or used to calculate the returns contained therein, and transaction costs connected with such realizations remain unknown and, therefore, are not factored into such calculations. Estimates of unrealized value are subject to numerous variables that change over time. The actual realized returns on the relevant SB Fund's unrealized investments will depend on, among other factors, future operating results, the value of the assets and market conditions at the time of disposition, any related transaction costs and the timing and manner of sale, all of which may differ from the assumptions and circumstances on which the relevant SB Fund Manager's valuations are based.

Past performance is not necessarily indicative of future results. The performance of an SB Fund or any future fund managed by an SB Fund Manager may be materially lower than the performance information presented in this presentation. There can be no assurance that each SB Fund or any future fund managed by the relevant SB Fund Manager will achieve comparable results as those presented therein.

Third-party logos and vendor information included in this presentation are provided for illustrative purposes only. Inclusion of such logos does not imply affiliation with or endorsement by such firms or businesses. There is no guarantee that an SB Fund Manager, an SB Fund's portfolio companies, any future portfolio companies of a future fund managed by an SB Fund Manager or SBG will work with any of the firms or businesses whose logos are included in this presentation in the future.

SBGA, SBIA and SBLA manage separate and independent operations and processes from each other and those of SBG in the management of Vision Fund II, Vision Fund I and Latam Fund, respectively. Any SB Funds managed by SBGA, SBIA or SBLA are solely managed by SBGA, SBIA or SBLA respectively.

免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下 SBG と併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものでもありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績の保証を意味するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBG の重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SB ファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBG のホームページの「事業等のリスク」

(https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依存してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測又は予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SB ファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBG の普通株式の取引、スポンサーなし ADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBG の普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBG の開示は、スポンサーなし ADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADR の取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBG は、SBG の普通株式に関するスポンサーなし ADR プログラムの設立又はそれに基づき発行される ADR の発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBG は、ADR 保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBG が 1934 年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBG のホームページに、SBG が証券取引所法ルール 12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づく SBG の普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG 及び当社グループは、SBG の普通株式を表象するスポンサーなし ADR に関連して、ADR 保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社や Z ホールディングス株式会社などの、スポンサーなし ADR プログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又は SB Global Advisers Limited（以下「SBGA」）、SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）、SBLA Advisers Corp.（以下「SBLA」）及びそれらの関係会社を含む SBG の子会社（以下併せて「SB ファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SB ファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように

依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SB ファンドは、他のファンド同様、それぞれ SBIA とその関係会社によって運用されている SoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、リーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」または「SVF1」）と、SBGA とその関係会社によって運用されている SoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、リーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」または「SVF2」）を含み、また、SBLA とその関係会社によって運用されている SBLA Latin America Fund LLC（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、リーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」または「LatAm Fund」）を含みます。

SB ファンド（ビジョン・ファンド1 及びビジョン・ファンド2 並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SB ファンド運用会社、SB ファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG 又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるにもかかわらず表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報は SB ファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又は SB ファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SB ファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連する SB ファンド、本資料に言及されるその他のファンド又は SB ファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SB ファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連する SB ファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SB ファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連する SB ファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載される SB ファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連する SB ファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確

定要素の影響を受けます。関連する SB ファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連する SB ファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SB ファンド又は SB ファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各 SB ファンド又は関連する SB ファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SB ファンド運用会社、SB ファンドのポートフォリオ会社、SB ファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又は SBG が、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA、SBIA 及び SBLA は、ビジョン・ファンド 2、ビジョン・ファンド 1 及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互に SBG からそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA、SBIA 又は SBLA によって運用される SB ファンドは、それぞれ SBGA 単独、SBIA 単独又は SBLA 単独で運用されています。

